

気持ちの良い拍手の仕方

2022.9.26 校長 西谷 秀幸

いよいよ今週の土曜日は運動会です。1年生と2年生、3年生と4年生、5年生と6年生というように、2学年ずつで行いますが、土曜日に1日で運動会を行うのは、3年ぶりです。4年生以上の方は、全学年で行う運動会を知っていると思いますが、1年生～3年生にとっては、初めてのことですね。全力を出し切って、思い出に残る運動会にしましょう。きっと、本番では家の人たちから大きな拍手がもらえると思いますよ。

では、皆さんは、運動会でどんな拍手をしてもらおうと嬉しいでしょうか。

実は、拍手には「正しい拍手の仕方」というのがあるのです。そこで、今日は、してもらおうと嬉しい「正しい拍手」のポイントをいくつかお話しします。



1つめのポイントは、「**手（指先）の向き**」です。「手を上に向けて叩く」と「手を下に向けて叩く」のでは、どちらがしてもらって嬉しいでしょうか。[実演]

手は上に向けて胸から顔の前で叩いた方が、より気持ちの良い拍手になりますね。

2つめのポイントは、「**叩くスピード**」です。「大きくゆっくり手を叩く」と「小さく速く手を叩く」のでは、どちらがしてもらって嬉しいでしょうか。[実演]

「小さく速く、小刻みに叩く」と気持ちの良い拍手になります。反対に、大きくゆっくり拍手をされると、なんか嫌な気持ちにもなりますね。

3つめのポイントは、「**手首と体をぐにゃぐにゃさせない**」です。手首をぐにゃぐにゃさせたり、体をゆすって大きくゆっくり拍手をしたりすると…。[実演] そんな拍手をされると、バカにされているようになってしまいますね。ですから、姿勢を良くして、手首を固めて拍手しましょう。[実演]

今、それぞれの学年が運動会の練習で、リレーや玉入れなど、勝ち負けがある競技をしています。当然、勝ったチームは、自然にガッツポーズをしたり、自分たちで拍手をしたりして喜んでいるし、負けたチームはガッカリして残念がっています。

でも、何年生だったか、負けたチームが、本当は悔しいはずなのに、勝ったチームに対して、気持ちの良い拍手を送ってあげていたことがありました。これって、分かっているも、なかなかできないことです。とても素晴らしい…と思いました。

どんなことでも、自分のチームが勝つと嬉しいし、負けると悔しいのは当たり前です。だからこそ、「相手がしてもらって嬉しい拍手」を送って、最高の運動会にしましょう。「手は上向き、手首を固めて、小さく速く小刻みに」ですよ。特に、負けて悔しいときこそ、そんな拍手を相手に送ってあげましょう。

これで朝会のお話を終わります。

(裏面に「先生方へ」があります)

〈先生方へ〉

9月もあっという間に最終週、いよいよ、今週末が運動会となりました。よく「子供は本番に強い」と言われますが、「練習でできないことは、本番でもできない」とも言います。当日に100%のパフォーマンスを発揮できるように、前日に120%の演技で仕上げ、子供たちの士気を高めていきたいですね。疲れもピークに達して、ケガが多くなる時期ですから、ピシッとさせるところと緊張をほぐして休ませるところを分け、メリハリをつけて指導していくことを心がけてください。

さて、学校では様々な場面で拍手をする機会がありますが、運動会というのは、もしかしたら1年間でもっとも多く拍手をする日なのかもしれません。そこで、してもらって嬉しい「気持ちの良い拍手」について考えてほしいと思い、話をしました。

かつて、6年生がオーケストラ鑑賞教室に行っていたとき、毎回、会場から割れんばかりの拍手が起こります。当時、6年生に聞いたところ、自然に大きな拍手をしていたとのこと、つまり、「本当に良いもの」にふれると、自然と心から拍手がするものです。

ところが、学校では自然にわき起こる拍手より、形式的に拍手をする機会の方が数多くあるように思います。朝の会でのスピーチ、帰りの会で良いことをした人の発表、今回はありませんが、運動会での優勝杯・準優勝杯返還など…。これらの場合の多くは、子供が心から拍手をしたいと思っているとは限らないので、いかげんな拍手になったり、拍手すらしようとしなかつたりすることも多々あります。ときには、相手を賞賛するための拍手が、かえって嫌な気持ちにさせてしまうことさえあります。

そこで、運動会当日に向けて、負けたときこそ、相手を賞賛して心から拍手をすることの大切さを指導していただければと思います。同時に、今回、子供たちに話したような「気持ちの良い拍手」を日頃からできるように指導していただければ幸いです。

【資料】拍手は何のため？～正しい拍手の仕方～

(前略) ある歌手がTVで歌っているときに泣き出してしまったことがあります。その理由は「拍手が嬉しかったから」。こんな風に拍手1つが人の心を打つことがあります。でも、拝見していると、本当に心のこもったいい拍手をしている方、何となく形だけ拍手しているように見える方、様々です。

では、本当にいい拍手とは…？ 拍手は『相手に気持ちを伝えるもの』です。言葉と同じです。ということは、ちゃんと相手に伝わるようにしなくてはなりません。！

①まず、左手の手のひらに右手の人差し指1本だけで拍手を試みてください。

左利きの方は、逆でもOK。音がちゃんと聞こえますか？

②次に、人差し指と中指の2本で拍手してみてください。人差し指だけの時よりも大きな音になりましたか？

③続いて、3本、4本と順に増やしていきましょう。次第にいい音になり、5本でしっかり拍手すると、素晴らしい音になりませんか？

しっかりと手と手を合わせ、音となって相手に届く……それが拍手です。そういう拍手を人に贈り、人からも贈りたいものですね。あなたのまわりの方に教えてあげてください。そうすれば、あなたは「最高の拍手」を贈られることでしょう。